

自然観察会報告
船越堤公園の地層と野鳥の自然観察会
横山謙二



夫池で見られたカワセミ

平成 27 年 1 月 18 日に静岡市清水区の船越堤公園で観察会を行いました。船越堤公園は、有度丘陵の北東にある森に囲まれた公園で、麓に人工的につくられた池の夫婦池（夫池と婦池）があります。この森と池には、様々な野鳥が集まり、普段でもバードウォッチングを楽しむ人が多く来ています。また、あまり知られていませんが、この公園内には約 12 万年前に堆積した地層が見られ、その地層には海生の貝化石が含まれていることがあります。今回の観察会では、森や池の周りを歩きながら、野鳥や地層の観察を行いました。

まず、観察会は公園の南側の駐車場からスタートしました。この駐車場では、ノスリが上空を舞っているのが見られました。そこからイベント広場をとおり、夫池に向かいました。夫池に着くと、さっそくたくさんのキンクロハジロが出迎えてくれました。そのキンクロハジロの中には、1羽だけホホのところ白、他のオスと違った、変わったものもいました。

キンクロハジロを観察していると「ピッピッピッピ」という、かん高く鳴く声が聞こえ、カワセミが現れました。カワセミは、ずいぶん近くまで来てくれて、じっくりと写真を撮ることができました。

次に婦池に向かいました。婦池には、釣りをする人が多くみられ、ここでもカワセミが見られました。この公園のカワセミは、だい



地層の観察を行う参加者

ぶ人に慣れているようです。

婦池の西側の入口からは、地層を観察するために、南側の斜面沿いの散策路を歩きました。この南側の斜面には、ところどころに泥層が見られます。この泥層は、約 12 万年前に内湾～内湾口に堆積したものと考えられています。この観察会では、この地層から貝化石を見つけることができ、参加者の中には、拾った小さな貝化石をもって帰る人もいました。

次に茶室方面から星の広場をぬけ、駐車場方向に、野鳥を観察しながら進みました。途中ではモズ、ヒヨドリ、コゲラ、メジロなどが観察できました。この時期に見られるルリビタキも探しましたが、残念ながら見られませんでした。

今回の観察会は、冬場のいろいろな野鳥が見られ、地層と化石の観察もでき、短い時間でしたが楽しむことができました。また、夏場、違う野鳥を見に来るのも良いかもしれません。なお船越堤公園は、平成 27 年度に発行予定の静岡市の「いきもの散策マップ」のコースの一つです。ぜひ、この公園で散策をされる方は、このマップをご活用ください。マップは、静岡市のホームページからダウンロード（PDF ファイル）できます。

ダウンロード先：

http://www.city.shizuoka.jp/deps/seiryuu/ikimono_route_24.html